

東京神學大學報

T O K Y O

U N I O N



T H E O L O G I C A L S E M I N A R Y

No. 337

MAY 15, 2026

● 入学式式辞

東京神学大学 学長 神 代 真砂実

● 新入生の声

● 入試に向けた行事のご案内

● 「神学校日礼拝」奉仕神学生派遣に関するご案内

● 同窓会總會公告

二〇二五年度 卒業生赴任先一覧

榊原かをる 日本基督教団 読谷教会 (主任担任教師)

関口 直文 日本キリスト教会所属

体調不良のため、静養・待機

小野恵理子 OMF (国際福音宣教会) 日本ホームサイドセンター

竹村 恭一 日本基督教団 上総大原教会 (担任教師)

内田幸四郎 日本基督教団 上諏訪教会 (主任担任教師)

金井 恭子 日本基督教団 松本東教会 (主任担任教師)

金 賢俊 日本基督教団 中川ぶどうの木伝道所 (主任担任教師)

吉岡(小林)光恵 日本基督教団 秋田檜山教会 (担任教師)

重村 智計 日本基督教団 要町教会

三永 信泰 日本基督教団 芸西伝道所 (主任担任教師)

呂 寅讚 在日大韓基督教会 品川教会

吉岡 優介 日本基督教団 秋田檜山教会(主任担任教師)

2026 年度入学式・式辞

創世記 第8章 13節～22節、
コリントの信徒への手紙二 第5章 17節



東京神学大学 学長 神代 真砂実

新年度の歩みを始めるにあたり、特に与えられた「創世記」の箇所によりながら、思いをめぐらせていきます。

この箇所には新しい始まりが記されています。新しい年の始めの出来事です（13節）。それ以上に、大洪水が終わり、人間と、地上の生き物とが新しい出発をしようとしている場面です。

ところが、そのような場面で私達は知らされるのです——「人が心に思うことは、幼いときから悪いのだ」という神様の私達人間に対する評価を（21節）。新しい出発をしようとしているところで、このような評価がなされているのです。

洪水は決して単なる「リセット」ではありませんでした。むしろ、決定的な仕方、被造物には、いや、その代表である人間には「マインナス」の記号が付けられているのを私達は、ここから知ります。その意味で、ここには人間に対する深い絶望があるとさえ言えるでしょう。

ここに記されているのは、決して「新しい」出発と言えるようなものではないのです。洪水の前と後を比べてみても、何も変わっていないのです。人間には、被造物には、何も新しいことは期待できないのです。

特に新入生の皆さんには、酷い言葉に聞こえることでしょう。しかし、まさに入学式であるからこそ、そして、これからの歩みのためにこそ敢えて言います——人間

にも被造物にも、何も新しいことは期待できない、と。神学校で学ぶようになることは、自分の新たな可能性を追求することでもなければ、自分の隠れていた才能を新たに引き出すことでもありません。自分で努力して新しい知識を獲得することですらない、少なくとも、それが第一のことなのではないと言わなければなりません。

人間に何も新しいことは期待できないというのには、人間には変わりがないということです。それにもかかわらず、きょうの「創世記」の箇所には大きな変化があります。絶対に新しいものがあります。それは人間の中にはなくて、神様の中にあります。「人に対して大地を呪うことは二度とすまい。……わたしは、この度したように生き物をことごとく打つことは、二度とすまい」（21節）。洪水の出来事を経ての、神様の新たな決意です。

（旧約）聖書の信仰において注目されることの1つは、神様の裁きを経て、人間と神様の間の関係が、いよいよ深く・堅くされていくということでしょう。「エフラムはわたしのかけがえのない息子／喜びを与えてくれる子ではないか。彼を退けるたびに／わたしは更に、彼を深く心に留める。彼のゆえに、胸は高鳴り／わたしは彼を憐れまずにはいられないと／主は言われる」（エレ31・20）。神様は「退け」、裁く度に、その退け、裁いた相手をいよいよ「深く心に留め」ていかれる、神様の愛

は、いよいよ激しく燃え、神様と、その民との結びつきは強くなるといふのです。

同じことが、この「創世記」の箇所にも当て嵌まります。神様は大洪水による裁きの中で、人間を、被造物を「更に、……深く心に留める」ようになられたのです。人間の罪深さは変わっていませんが、神様が変わられたのです。私達に対する憐れみを、忍耐を、信実を、いよいよ深くされたのです。

そして、新約聖書を与えられている私達は、さらに確信できます。私達の主イエス・キリストの十字架において究極的な裁きが起こったのであるからには、私達は神様の心に、同じように究極的な仕方、しっかりと留められているはずである、と。人間自身の力には何一つ期待できないからこそ、神様は、その独り子を与えて下さり、私達を救って下さり、私達を新しくするという、私達には不可能であったことをなして下さったのだ、と（Ⅱコリ5・17）。

この日、私達は新しいことを何もできない人間であるという厳粛な事実の前に立ち、そして、その私達を新しくして下さる神様の、その恵みに全てがかかっていることを確かめます。そのことが、この東京神学大学という神学校での生活の土台です。この朝与えられた御言葉に支えられながら、また、繰り返し思いを向けながら、この一年の歩みを始めることにしましょう。

学長室から

学長 神代真砂実

新年度を迎えました。これが私の学長としての任期の最後の年度となります。これまでの神様と皆様のお支えに感謝申し上げます。そして、もう一年、どうぞよろしくお願いいたします。

年度の変わり目にあたり、人事に関するお知らせがあります。この度、李倫尚（イ・ユンサン）先生を組織神学部門の助教として、お迎えしました。李先生は韓国の出身で、本学を卒業後、日本基督教団の教会で宣教師として奉仕された後、ドイツのテュービンゲン大学で数年にわたって研究をしてこられました。この度、日本での働きに復帰されることとなりました。これに伴い、これまで特任教授として組織神学部門を支えてくださった芳賀力先生には、4月から非常勤講師として教えていただきます。

今年度は学部は十九名、大学院後期課程（博士課程）に一名の学生を新たに迎えるの出発となりました。学部一年次に二名、三年次に編入した者が十七名（内二名が神学研修志望）ありました。これらの新入生達と共に始められる新年度の歩みについても、お祈りください。

これだけの数の新入生が与えられ、感謝に堪えません。お祈りに感謝申し上げます。とはいえ、全体として見れば、厳しい状況に大きな変化はありません。引き続き努力してまいりますので、どうぞ東京神学大学で学ぶ者を送り出してくださいますよう、よろしくお祈りいたします。

新 入 生 の 声



大澤 正芳



渡辺 浩生



文 成煥



願念 あゆみ



緒方 鈴佳



裴 準民

「新たな気づきからの出発」

学部1年 裴 準民

私はこの東京神学大学の入学式を期待と不安を抱いて迎えました。私は、神様が導かれた神学の道をついに歩み始めることとなり、新たな学問を学ぶことに対する期待を抱いていました。しかし私は、神学を学ぶことで自分がより良い人に変えられるものだと考えていたため、自分は本当に変わるのだろうかという不安もありました。

ところが、入学式での神代先生の説教を聞きはっとしました。神学を学ぶのは自分の召命を確かめるためであり、人は神学を学んだぐらいで変えられるほど清い存在ではなかったのです。これからの神学大学での生活は、この神代先生の説教を軸にして、楽しく学び、交わりを持ちながら過ごしていきたいと思えます。

「なんとという賜物」

学部3年 渡辺 浩生

「見よ、兄弟が共に座っている。なんとという恵み、なんとという喜び」(詩篇133・1)。入学式でふと浮かんだ聖句です。神様から召しを受けたときやうだが集結し、福音伝道に遣わされる必要な学びのために、支え合っていく。そんな学舎の空気を初日から味わっています。11年前の復活祭に受洗し、教会以外に唯一のクリスチャンという日常が続きました。マイノリティ意識が染み付いた私にとり、学友も教職員の方々も「100%クリスト者」という環境は、賜物というほかありません。教会と神学校の「両輪」で歩む道のりを、神代学長は「主イエス・キリストの召命を確認するプロセス」と説明されました。入学の日の喜びと感謝を胸に私も歩んでいきます。

「なんでもないわたし」

学部3年 緒方 鈴佳

この度主によって道が開かれ、東京神学大学での学びを始めることとなりました。私自身、数年前まで自分に献身の志が与えられ、東神大の門を叩くことになるとは思ってもみませんでした。しかし今となつては生まれた時から、いや、もはや生まれる前から主のご計画は始まっていて、その道を確かに導かれてきた歩みだったのだと受け取っています。

茨の道とも言われる道の始まりに立たされ足はすくみませんが、「主が成してくださる」と力強く送り出してくれた母教会の祈りに支えられつつ、主の御手に全てをお委ねして神学校生活を歩んでいきたいと思えます。

「与えられた機会を大切に」

博士課程後期課程1年 大澤 正芳

卒業から、あつという間に十七年目を迎えました。主なる神様の不思議な導きにより、再び母校で学ぶ機会を与えられました。牧師の研鑽を喜び、送り出してくれる栗平教会に心から感謝しています。教師として、説教塾で受けてきた薫陶を小泉健教授のもとで深め、加藤説教論における説教の「サクラメント性」、「出来事性」を整理し、説教者仲間たちにその学びを分かち合うことができると願っています。渴いた者は、泉を飲み干せないからといって悲しむのではなく、一杯の水で満足し喜ぶと語った古代教父の言葉を胸に刻み、非才な者ですが、この機会を大切にしたいと願っています。

「主に導かれ、感謝して」

学部3年 願念 あゆみ

畏れと不安と期待のうちに神学校での学びが始まりました。献身の思いが与えられ始めたころ、不思議なほど次々と、子どもの頃や青年時代にお世話になった方々、いくつもの教会や学校において共に礼拝を捧げ良き学びと交わり時を過ごさせていただいた方々、送り出してくださった教会の皆様、また家族のことを思い起こしました。神様が出合わせてくださったお一人お一人を通して、多くのことを学ばせていただけて今があることを深く心に覚え、感謝の気持ちで一杯です。信徒として歩んだ長い年月を忘れず、すべてを神様に委ね、与えられた道と信じ、謙虚に歩んで参りたいと願っています。

「すべての人から学ぶこと」

学部3年 文 成煥

日本に来て驚いたことの一つは、教授の方々に「先生」とお呼びすることです。韓国では一般的に「教授様」とお呼びします(少し不思議に感じられるかもしれませんが)。

しかし「先生」という言葉は、「先に生きている人」という意味がある言葉だと思いました。その意味で、ここにいらっしゃるすべての方々は、私にとって日本であって生きてこられた「先生」であるのだと感じています。ここで出会うすべての方々を通して、学び、成長していきたいと願っています。すべての先生方との出会いを大切にしながら歩んでいきたいです。先生方、どうぞよろしくお願いたします!

二〇二六年度 東京神学大学・大学院

新入生氏名・推薦教会

神学部 神学科

1年

内田 聖

裴 準民

3年

岩瀬 俊広

緒方 鈴佳

川村 純

願念 あゆみ

小池 光

小杉 聡

今野 正道

焦 健峰

田中 美香

藤井 伸樹

南澤 厚美

宮川 英子

文 成煥

森岡 伸行

森谷 亨

遊佐 柊介

渡辺 浩生

青山教会

アガベ教会

江戸川教会

神戸神愛教会

越谷キリスト教会

白鷺教会

聖イエス教会

銀座教会

中渋谷教会

桜台教会

蕨キリストの教会

1年

内田幸四郎

大澤 正芳

藤井 伸樹

南澤 厚美

宮川 英子

文 成煥

森岡 伸行

森谷 亨

青い教会

アガベ教会

江戸川教会

神戸神愛教会

越谷キリスト教会

白鷺教会

聖イエス教会

銀座教会

中渋谷教会

桜台教会

蕨キリストの教会

1年

内田幸四郎

大澤 正芳

藤井 伸樹

南澤 厚美

宮川 英子

文 成煥

森岡 伸行

森谷 亨

青い教会

アガベ教会

江戸川教会

神戸神愛教会

越谷キリスト教会

白鷺教会

聖イエス教会

銀座教会

中渋谷教会

桜台教会

蕨キリストの教会

1年

内田幸四郎

大澤 正芳

藤井 伸樹

南澤 厚美

宮川 英子

文 成煥

森岡 伸行

森谷 亨

青い教会

アガベ教会

江戸川教会

神戸神愛教会

越谷キリスト教会

白鷺教会

聖イエス教会

銀座教会

中渋谷教会

桜台教会

蕨キリストの教会

1年

内田幸四郎

大澤 正芳

藤井 伸樹

南澤 厚美

宮川 英子

文 成煥

森岡 伸行

森谷 亨

青い教会

アガベ教会

江戸川教会

神戸神愛教会

越谷キリスト教会

白鷺教会

聖イエス教会

銀座教会

中渋谷教会

桜台教会

蕨キリストの教会

1年

内田幸四郎

大澤 正芳

藤井 伸樹

南澤 厚美

宮川 英子

文 成煥

森岡 伸行

森谷 亨

新入生氏名・推薦教会	新入生氏名・赴任教会
神学部 神学科	大学院博士課程 後期課程
1年	組織神学専攻
内田 聖	1年
裴 準民	内田幸四郎
3年	大澤 正芳
岩瀬 俊広	藤井 伸樹
緒方 鈴佳	南澤 厚美
川村 純	宮川 英子
願念 あゆみ	文 成煥
小池 光	森岡 伸行
小杉 聡	森谷 亨
今野 正道	遊佐 柊介
焦 健峰	渡辺 浩生
田中 美香	
蕨キリストの教会	青い教会
桜台教会	アガベ教会
	江戸川教会
	神戸神愛教会
	越谷キリスト教会
	白鷺教会
	聖イエス教会
	銀座教会
	中渋谷教会
	桜台教会
	蕨キリストの教会
	1年
	内田幸四郎
	大澤 正芳
	藤井 伸樹
	南澤 厚美
	宮川 英子
	文 成煥
	森岡 伸行
	森谷 亨
	遊佐 柊介
	渡辺 浩生
	青い教会
	アガベ教会
	江戸川教会
	神戸神愛教会
	越谷キリスト教会
	白鷺教会
	聖イエス教会
	銀座教会
	中渋谷教会
	桜台教会
	蕨キリストの教会
	1年
	内田幸四郎
	大澤 正芳
	藤井 伸樹
	南澤 厚美
	宮川 英子
	文 成煥
	森岡 伸行
	森谷 亨
	遊佐 柊介
	渡辺 浩生
	青い教会
	アガベ教会
	江戸川教会
	神戸神愛教会
	越谷キリスト教会
	白鷺教会
	聖イエス教会
	銀座教会
	中渋谷教会
	桜台教会
	蕨キリストの教会
	1年
	内田幸四郎
	大澤 正芳
	藤井 伸樹
	南澤 厚美
	宮川 英子
	文 成煥
	森岡 伸行
	森谷 亨
	遊佐 柊介
	渡辺 浩生
	青い教会
	アガベ教会
	江戸川教会
	神戸神愛教会
	越谷キリスト教会
	白鷺教会
	聖イエス教会
	銀座教会
	中渋谷教会
	桜台教会
	蕨キリストの教会
	1年
	内田幸四郎
	大澤 正芳
	藤井 伸樹
	南澤 厚美
	宮川 英子
	文 成煥
	森岡 伸行
	森谷 亨
	遊佐 柊介
	渡辺 浩生
	青い教会
	アガベ教会
	江戸川教会
	神戸神愛教会
	越谷キリスト教会
	白鷺教会
	聖イエス教会
	銀座教会
	中渋谷教会
	桜台教会
	蕨キリストの教会

入試に向けた行事のご案内

東京神学大学 教授
入試担当 田中 光

2027年度の入学者選抜に向けて、2026年度も、幾つかの行事を計画しておりますので、ここにご案内申し上げます。

- ① 7月18日（土）に「入試説明会」を行います。この会では例年、礼拝から始まり、学校の紹介、入試に関する説明、教員が担当する受験相談の時を設けております。学校を直接訪れて、その様子を肌で感じることもできるまたとない機会ですので、本学での学びを志しておられる方は、是非お越しください。
- ② 9月26日（土）に「日本伝道を担う青年の集い」を行います。昨年度は多くの方が参加してくださいました。今年度も一人でも多くの方に参加していただきたいと願っています。詳細は計画中ですが、礼拝を中心しつつ、楽しい昼食の時間、分団や証しの時間などを企画しています。会の終了後には、受験相談の時も持つ予定です。皆様の参加をお待ちしております。
- ③ 12月5日（土）に「オープンキャンパス」を行います。礼拝から始まり、キャンパスツアー（本館、図書館、学生寮など）、教員によるショート・レクチャー、入試説明、そして受験相談を企画しています。入試のことだけでなく、召命感のこと、学費のこと、神学校生活のことなど、何でも相談してください。受験を考えておられなくても、学校を見学してみたいという方も歓迎いたします。どうぞお気軽にご参加ください。
- ④ また、昨年度より、「体験授業」と称して、本学で日頃行われている授業を実際に体験していただける期間を設けております。今年度も同じ企画を、規模を少し拡張して計画していますので、神学の学びに興味がある方、献身を考えておられる方は、「体験授業」への参加を通して、是非神学校での学びを体験してみてください。

以上の行事についての詳細は、今後大学のホームページを通してご案内して参りますので、どうぞそちらをご覧ください。

お問い合わせの際には、以下の連絡先をご参照ください。

Tel: 0422-32-4185

Fax: 0422-33-0667

Email: tuts@tuts.ac.jp

（件名に「入試行事に関する問い合わせ」とご記入ください）

誰もがこれからの世界の将来について不安を抱いているこの時代においてこそ、キリストの福音を語る伝道者が必要とされています。以上の行事が、皆様にとって献身を考えるきっかけになればと願っております。

『伝道と神学』16号 発行のご案内

神学会委員長 本城 仰太

『伝道と神学』16号が2026年3月に発行されました（定価2,000円＋税）。諸般の事情で500円値上げいたしました。本号には本学教員および関係者による15本の神学論文が掲載されていますので、ぜひお読みください。巻頭の講演は、韓国の長老会神学大学院との間の相互協定に基づいて来日された高元錫先生が、東京神学大学での2025年11月19日の「公開授業」でお話くださった原稿です。とても興味深い内容ですので、神代真砂実学長の講演の原稿と合わせてぜひお読みください。昨年に引き続き、今年も1月に「教職セミナー」が開催されました。テーマは「祈り」です。田中光先生による主題講演のほか、本学教員による発題の論文4本が掲載されています。その他、以下の論文が掲載されていますので、読者の皆さまの神学研究に本号をぜひご利用ください。

〔講演〕

こどもに罪をどう教えるか
— 神学的意味と経験的観察との批判的対話
外から見たメソヂイスト教会

高元錫
神代真砂実

〔第54回教職セミナー（2026年1月6～8日）〕

（主題講演）旧約聖書における祈り（後編）

（発題）「主の祈り」は終末的祈り、あるいは黙示的祈りか？
古代教会における主の祈り— 洗礼と聖餐との結びつき

田中 光
中野 実
本城 仰太

古代イスラエルの祈りとその周辺
— 旧約の民の祈りの本質と変化から学ぶ
良い祈り・悪い祈り
— 「ファリサイ派の人と徴税人」の譬え
（ルカ18:9-14）と祈りの評価基準
ダニエルの罪の告白の祈り

宮崎 薫
河野 克也
矢野 洋子

〔自由研究〕

詩編8編と79編（MT 80編）の受容史的考察
— 新約聖書における「人の子」概念との関わりを中心にして
カイサリアのバシレイオスの神学的思想について
— 書簡の考察（その2）

田中 光
飯田 仰

〔博士課程研究〕

祝福について— プロテスタントの文脈における短い考察
— やっばり大事な宗教教育…実践へのいくつかのヒント
— 第24回「国際宗教学教育・価値セミナー」学会報告
— トーマス・F・トランクスにおける終末論と聖餐論

清野 久貴
箕口 窓香
平澤 巧

〔修士論文要約〕

詩編89、90編— メシア的人物の待望
— 廣瀬 祥史
— 佐藤 晏
— 廣瀬 祥史
— 佐藤 晏

廣瀬 祥史
佐藤 晏

「神学校日礼拝」奉仕神学生 派遣に関するご案内

10月第二主日は「神学校日・伝道献身者奨励日」です。神学校を覚え、また伝道献身者が起こされるように呼びかけをお願いいたします。この日の礼拝のために、神学生を派遣いたします。これまでも神学生を招いて説教や証しの機会を与えてくださっています。ことに感謝申し上げます。

派遣の目的

神学生派遣の目的は、(1)教会、学校の皆さんに神学生に触れていただき、神学生や神学校を覚える機会となることです。

さらに、(2)神学生が説教奉仕を通して訓練され、また神学校生活が多く祈りに支えられていることを体験することです。

派遣の時期

神学生の人数が減っており、神学生の数よりもずっと多くの教会から申し込みをいただいています。そのため、申し込みをいただいても、お応えすることができないこともあります。

少しでも多くの教会に神学生をお送りできるように、本学としては、期間を長くとり、9月から11月を派遣の時期と考えています。諸教会、学校におかれましても、10月第二主日にこだわらずに「神学校日」の日程を設定していただけると、たいへんありがたく存じます。

派遣する神学生

これまでは、すでに夏期伝道実習を経験した学部4年生以上の神学生を派遣してきました。今後は、教員も奉仕させていただきたいと願っています。また、学部3年生までの神学生をお迎えいただき、証しなどをさせていただくこともお考えいただきたいと願っています。これらの形でもよい場合は、申し込みの際に、その旨をお知らせください。

申し込みの方法

かかわりのある神学生がいる場合は、その神学生と直接連絡を取り、奉仕を依頼していただいてもかまいません。

本学に申し込んでくださる場合は、書面（郵便、ファックス、メールなど）で、教会・団体名、担当者氏名、連絡先、希望する日、奉仕内容、交通費などの有無、その他のご希望をお知らせください。

希望する日については、どうしても10月第二主日に集中してしまいますが、すでに述べましたように、学生数が少なく、この日だけでは多くの教会のお招きにお応えすることができません。できるだけ多くの候補日を挙げていただくと助かります。また、10月以外の日程もお考えください。

申し込みの宛て先は、本学教会実習委員会です。メールの場合は小泉のアドレスまでお願いします (kenkoizumi@uts.ac.jp)。

申し込み後の予定

申し込みの締め切りは7月末日です。派遣する神学生が決まり次第ご連絡いたします。9月第一主日までご連絡することを目指します。その日を過ぎてしまいう際はご容赦ください。必要があれば、いつでもお問い合わせください。

東京神学大学教会実習委員会

小泉 健

公 告

東京神学大学同窓会総会

- ◇日時 2026年6月2日（火）伝道フォーラム終了後（16時頃）
- ◇会場 東京神学大学礼拝堂
- ◇議題
 1. 東京神学大学同窓会役員選出に関する件
 2. 東京神学大学同窓会の今後の活動に関する件
 3. 東京神学大学同窓会「決算」および「予算」に関する件

以上

東京神学大学同窓会 会長 古屋治雄

※総会当日、同窓会費の納入（2026年度、2,000円）をお願いいたします。

やむを得ず総会に出席できない方は「振り込み」による納入をお願い申し上げます。

- 「ゆうちょ銀行」 記号：11360 番号：13995871
口座名義：東京神学大学同窓会

- 「他金融機関」から送金する場合
店名：一三八 店番：138 預金種目：普通預金
口座番号：1399587 口座名義：東京神学大学同窓会

・振込の際の領収書は「ご利用明細票（振替受領票）」とさせていただきます。

告知板

公開夜間神学講座 聴講のご案内

聴講は1講座からお申込みいただけます。

受講日：毎週 月・金曜日

時間：午後6時～8時

場所：日本基督教団 銀座教会

受講料：12,000円 (1講座)

面談料：1,000円 (初めての方のみ)

申込締切：講座開始2週間前までに

お申し込みください。

2学期 (9月～12月)

月曜日

「古典派時代のミサ曲の発展」

講師：渡辺善忠

「牧会カウンセリング入門」

講師：吉岡光人

金曜日

「21世紀の倫理」

講師：須田 拓

「旧約聖書緒論概説」

講師：宮寄 薫

○パンフレットをお送りいたします。

問合せ・申込み：夜間講座事務局

TEL：0422-32-4185

FAX：0422-33-0667

E-mail：yakankouza@tuts.ac.jp

○ホームページもご覧ください。

URL：https://www.tuts.ac.jp

学事往来

4月1日 入学式
4月1～3日

新入生・新編入生
オリエンテーション

4月3日 公開夜間神学講座
開講式・神学入門

銀座教会

4月6日 前期授業開始

4月6日 公開夜間神学講座
1学期開始

4月14日 神学校全学集会
4月15日 クラス別懇談会

公告

李 倫尚 (イ ユンサン) 氏
2026年4月1日付で助教
に任用する。

4月16日 初年次教育1
5月11日～12日 同期研修会

5月12日 全学懇談会
5月16日 キリスト教学校伝道協
議会

主題「キリスト教学校
の使命とこれから」

5月19日 前期学生総会
5月29日 運動会
6月1日～2日

日本伝道フォーラム
主題「届けよう、福音
を…日本伝道の明日を
拓くために」

【理事会関係】
5月25日 第571回常務理事会

6月8日 第262回定期理事会
東京神学大学

6月22日 第217回定期評議員会、

第1回臨時理事会

7月13日 第572回常務理事会
銀座教会

東京神学大学

【後援会関係】

4月13日 第1回東京地区推進委
員会

4月20日 全国委員会
銀座教会

【財政委員会関係】

5月25日 資金管理運用委員会
銀座教会

公務出張

4月3日 公開夜間講座開講式
銀座教会

4月13日 後援会東京地区推進委
員会

4月20日 後援会全国委員会
銀座教会

5月16日 キリスト教学校伝道協
議会

5月25日 常務理事会
銀座教会

6月22日 定期評議員会・臨時理
事会

7月6日、7日 教団常議員会

【訃報】

深瀬 昭三郎氏
2022年4月27日逝去されま
した。91歳。(1995年東京
神学大学卒業)

土戸 清氏

2025年11月16日逝去されま
した。92歳。(1961年東京
神学大学院修了)

五月女 昇一郎氏

2025年12月18日逝去されま
した。91歳。(1959年東京
神学大学院修了)

宮本 旻祐氏

2025年12月27日逝去されま

した。89歳。(1962年東京
神学大学院修了)

西 豊氏
2026年1月24日逝去されま
した。98歳。(1955年東京
神学大学院修了)

松本 希和氏

2026年2月1日逝去されま
した。85歳。(1967年東京
神学大学院修了)

大隅 啓三氏

2026年3月31日逝去されま
した。97歳。(1956年東京
神学大学院修了)

大川 曙見氏

2026年3月29日逝去されま
した。90歳。(1960年東京
神学大学院修了)

★卒業生一同からの記念品寄贈

大学院博士課程前期課程第72
回修了生・学部第74回卒業生
の皆さんから、卒業記念とし
て、聖餐式(ふた付)パン皿(ス
テンレス製)が寄贈されまし
た。ご厚意に感謝いたします。

二〇二六年五月十五日発行
東京神学大学報・三三七号
〒181-0015 東京都三鷹市大沢三一一〇一三〇
東京神学大学広報委員会
電話 〇四二一三二一四一八五
FAX 〇四二一三二一〇六六七
郵便振替 〇〇一五〇一五〇三三三
https://www.tuts.ac.jp/